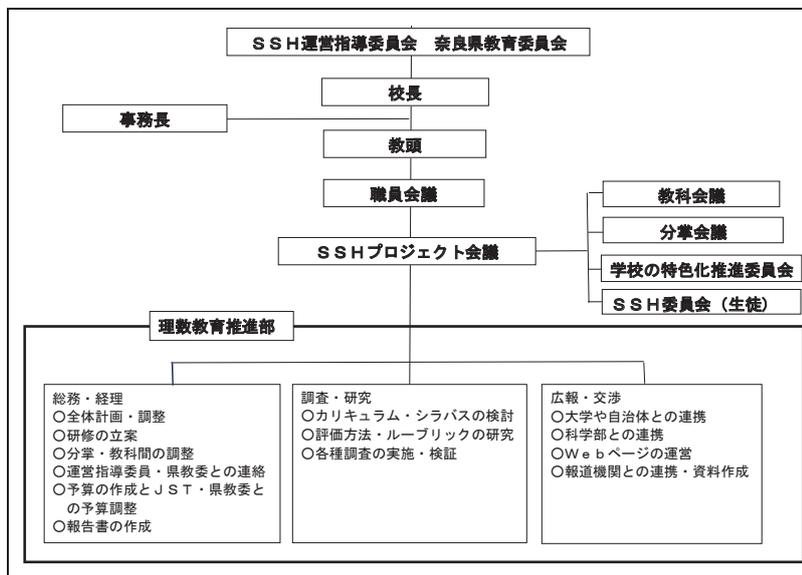


第5章 校内におけるSSH組織的推進体制

1. 校内分掌

本校は、学校長の主導のもと、全職員で事業推進に取り組んでいる。以下の組織概念図に示すように、校内にはSSH研究開発の推進管理を行う「SSHプロジェクト会議」を設置し、SSH事業の円滑な運営のために「理数教育推進部」が以下の3つの役割「総務・経理」「調査・研究」「広報・交渉」を主に担っている。

【奈良県立奈良北高等学校・SSH研究組織概念図】



① SSH運営指導委員

委員氏名	所属・職名	主たる指導・助言事業
松本 健一	奈良先端科学技術大学院大学情報科学領域教授	地域連携、探究活動
飯田 元	奈良先端科学技術大学院大学情報科学領域教授	地域連携、科学人材育成
中島 敬二	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス領域教授	地域連携、探究活動
金谷 重彦	奈良先端科学技術大学院大学情報科学領域教授	地域連携、探究活動
高橋 智彦	奈良女子大学大学院自然科学系物理学領域教授	探究活動、女性研究者育成
藤田 盟児	奈良女子大学大学院工学系工学領域教授	高大接続、女性研究者育成
田茂井 政宏	近畿大学農学部生物機能科学科教授	高大接続、科学人材育成
赤沢 早人	奈良教育大学教育学部教育連携講座教授	地域連携、授業改善・評価
竹村 謙司	奈良教育大学教育学部教育連携講座教授	地域連携、授業改善・評価

管理機関 奈良県教育委員会事務局高校の特色づくり推進課 指導主事 菟原 郁恵
指導主事 宮本 昌人

本校出席者 校長、教頭、事務長、理数教育推進部長、理数教育推進部副部長、
教務部長、キャリア教育部長、理数教育推進部1名、学校の特色化推進委員会委員長・副委員長

② SSHプロジェクト会議

校長、教頭、事務長、理数教育推進部長、理数教育推進部副部長、教務部長、キャリア教育部長、学校の特色化推進委員会委員長・副委員長、外部連携事業等企画推進委員会2名、各教科主任、生徒代表若干名（SSH委員会）

2. 組織運営の方法

研究開発について学識経験者や地域の代表者から指導・助言を受ける会議として、「SSH運営」を年2回(8月・12月)、「学校運営協議会」を年2回(6月・2月)それぞれ開催した。また、研究開発の方向性を決め、事業評価を行う校内会議として「SSHプロジェクト会議」を年3回(8月・12月・2月)開催した。教員だけではなく、SSH委員等の意見も聞き、SSH事業の活性化を図りたい。

第6章 成果の発信・普及

1 教員の発表による普及

①令和5年度奈良県高等学校理科（物理・化学・地学）学習指導研究会

（主催：奈良県教育委員会、奈良県高等学校教科等研究会理化部会）

令和5年11月16日（木）奈良県立奈良商工高等学校

高等学校における理科の実際の授業を通して、学習指導上の諸問題について研究協議を行い、教員の指導力向上を図るとともに、学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の在り方についての研修を深め、県内高等学校教育における理科教育の改善と充実に役立てることを目的とした研究会である。

本校教員がこの研究会において、「奈良北高校SSH事業の取組～地域連携～」というタイトルで発表し本校の取組を紹介した。

②令和5年度近畿高等学校進路指導連絡協議会 高大（専）連携実践発表会

（主催：近畿高等学校進路指導連絡協議会）

令和5年11月24日（金）大阪工業大学梅田キャンパス内 常翔ホール

進学指導及びキャリア教育において重要課題となっている高大連携の在り方について、実践発表をもとに上級学校と高等学校の教職員がそれぞれの立場から意見交換を行うことにより、指導力の向上を図ることを目的とした発表会である。

本校教員がこの発表会において「奈良北高校における高大連携」というタイトルで、これまでの本校の高大連携及びSSH事業を充実させていくための高大連携について本校の取組を紹介した。

2 本校行事を通じての普及

①「奈良北おうちDEサイエンス」実験会

令和5年7月31日（月）本校各実験室

②令和5年度奈良県立奈良北高等学校スーパーサイエンスハイスクール探究活動研究発表会

令和6年2月10日（土）（本校）

2年生の生徒たちはそれぞれ「SS探究A I」「SS探究B I」「LAS探究」での探究活動を通し、「論理的な思考力」「総合的な判断力・表現力」「新しい価値を創造する力」を培ってきた。全校生徒や教員・学校関係者等の前で発表することにより、さらにそれらの能力を向上させることを目的に開催した。

日 程 12：30～13：00 受付

12：45～ 各教室で点呼

1年数理情報科は大講義室で点呼

13：00～13：10 開会行事（学校長挨拶・発表会についての説明・来賓の紹介）

13：10～14：40 生徒研究発表 代表による口頭発表7グループ

L A S 探究 1 グループ

S S 探究 A I （理数科学コース） 2 グループ

S S 探究 A I （情報科学コース） 1 グループ

S S 探究 B I 2 グループ

イギリス短期留學生徒 1 グループ

14：40～14：50 休憩・移動

14：50～15：35 ポスター発表前半 奇数グループ 21 グループ

14：40～16：25 ポスター発表後半 偶数グループ 21 グループ

16：25～16：35 休憩・移動

16：35～16：55 閉会行事（来賓からの講評・学校長挨拶）

3 課題

今後は積極的に県内教員への普及を進めていく。理科や数学以外の教科においても積極的に本校での取組を紹介し、普及していく。